

中学校 発問検討ワークシート

①教材名	戦争を取材する	②内容項目	A-(5) 真理の探究、創造
③教材分析 (中心発問で考えさせるために押さえておきたいこと)	筆者・山本美香さん ・ジャーナリストという仕事への悩み ・ちっぽけな存在 自分の仕事にどれほど意味があるのか 医師・患者の不安を取りのぞく ・傷や病を治す ↓ 避難民の父親の言葉 ↓ ・紛争地、被災地に自分で行くことで → 自分自身のものの見方・考え方の広がり 平和な世界（よりよい社会）の実現 ・真理の探究、創造は難しい内容項目。 ・偉人伝。その人のことを知るだけの授業で終わりがち。 教材選定の理由： ・AI の活用で、簡単に何でも答えが分かる社会。真実をきちんと調べぬまま鵜のみにしてしまうことがある。改めて自ら問題を見出し「なぜだろう？」と探究していく大切さを生徒と一緒に考えたい。		
④ねらい (この教材で生徒に考えさせたいこと)	・この教材で生徒に考えてほしいこと →A の視点・自分自身に関することを主軸に。分からないことをそのままにしない。なぜと思う心を持つことが大切。それが自分を成長させ、人生を豊かにする。 ねらい：山本さんの生き方を通して、真実を追い求めることは、新たな見方や多面的な考え方の発見につながり、自分の将来の可能性を広げることを理解し、分からないことを謙虚に受け止め真実を追い求めようとする実践意欲と態度を育てる。 →AI の活用で簡単に答えを得てしまうような社会の中で、真理を探究して考え判断していく大切さを押さえる。		
⑤中心発問 (ねらいを達成するための発問)	中心発問：山本さんが厳しい紛争地で仕事を続けたのは、どんな思いがあったからだろう。 ・悲惨な現状を世界に伝えたかった。 ・真実を伝えることで平和な世界を実現したい。 ・自分が行動しないと世界が変わらない。 ・真理を明らかにすることが正しい判断につながる、という思い。 →自分の行動で世界が変わると信じている→自分の仕事に対する使命感？→C の視点の勤労に流れてしまわないか。A の視点で展開するには？ →ジャーナリストという仕事への思いになると勤労になってしまう。平和な世界の実現だと、社会参画や国際貢献に流れてしまう。それらも大切だが、この授業はAの真理の探究。		

	→山本さんにとっての真理とは何かを押さえることが大切。 →現地に出かけて行って、自分の目と耳で真理をしっかりとつかもうとしていた。 ニュースで流れること、人から聞いたことですべてを理解したような気になって判断してしまうことがある。 →自分には見えていないことがある、それを前提に明らかにしていく。 →真理の探究に対する生徒の意識を想定しておくことが大切。 →山本さんの生き方を通して、真理の探究の意義を考えさせたい。 →山本さんは人々の暮らしや生活から真実を見出し、それを世界に発信していた。→自分で見出した真実から判断する、正しい判断につながる。 →AI で分かったつもりになってしまう。一面的な判断の誤りに気づく。多面的な価値観を持つ大切さにつながる。
⑥問い返し (中心発問をさらに深めたい)	発問：命の危険もあるのに、<u>どうして自分で現地に行くのだろう</u>。 →自分で実際に現地に行き、人々の生活の中に真理があり、それを自分で取材して発信する→真理を探究する意義。 発問：山本さんにとって、真理を明らかにする意味って何だろう。 →山本さんが自分の目で見た生活に真理がある。自分で真理を得ることで正しい判断につながっていく。 →山本さんは紛争地の子ども、女性など弱者の視点を大切にしていた。その山本さんの生き方から真理とは何かを考えられるとよい。
⑦振り返りの発問	発問：真実を追い求めることには、どんな意義があるのだろう。 →導入で学習課題（めあて）として示す予定。中心発問のあとにこの問いに戻る。 ・自分が一面的な見た可視化できていなかったことに気づける。 ・限られた情報をうのみにして真実だと思っていたという反省。 ・自分の中になかった新しい見方や価値観の発見につながる。 ・自分の生き方が変わってくる。 →生徒の生活とのつながりもあるのでは？ 山本さんから学んだことから、生徒自身が「分からないことをそのままにしない」その心に従って行動すること、自分の中になかった多面的な見方考え方を身に付けることが自分の成長につながる。
⑧導入発問 基本発問 (中心発問にいたるまでに押さえておきたい発問)	導入発問：ジャーナリストと聞いて、どんな仕事を思い浮かべますか？ ・現地に行って取材する人。 ・情報を世界に発信する人。 ・真実を追求する人。 学習課題：真実を追い求めることには、どんな意義があるのだろう。 →A の視点で授業をしようとしても、ぶれてしまうことがあるので、学習課題を最初に設定することで、ぶれないようにしたい。 →生徒と一緒に確認することは大切。振り返りでもう一度戻ることによって学びを確認できる。

	授業の最初 Before : 知らなかったことが分かるようになる。 深まった後 After : 自分にはなかった見方考え方を身に付けることで、新たな価値観が生まれる。 →事前に想定しておくといよい。 範読前に↓を伝えておく 基本発問①：教材の中で印象に残った場面はどこですか？ ・ 息子を亡くした父親が感謝する場面 ・ 山本さんの考え方が変わった場面 →山本さんが真実を追い求めることの意義を自覚した場面が上がってくことを想定。 →前の発問ででいた生徒の意見を次の発問へつなげるのは大切。 基本発問②：息子を亡くした父親からの感謝の言葉を聞いて、山本さんはどんなことに気づいたのだろう。 →山本さんが真実を追い求めることの意義を自覚したことを押さえる。
⑨終末	→展開の後半部分で、学習課題を再度問うので、山本さんの生き方を通して、自分の生き方、人間の生き方に考えを落とし込んでいる前提で、気づいたこと、考えたことなどをまとめさせる。 →ねらいとする価値への自覚が生徒の言葉で出るとよい。 ○「問い続けることをやめない」アインシュタインの名言を紹介し、余韻をもって終える。
⑩まとめ	→Aの視点で難しさを感じる教材。 苦慮した点 ・ Aの視点だがCの視点に流れがち ・ 偉人の話から、生徒自身のことで落とし込んで考えさせられるか。 →島先生との対話を通じて深められることを実感した。1週間後に授業を予定。 感じたこと ・ 「生徒の意識の流れ」を意識している。指導案にある発問を順番にする授業になりがちだが、生徒の学びを想定しながら考えることが大切。 ・ 焦らないこと。複数の内容項目に流れがちだが、Aの視点でしっかりと展開する。自分自身の判断につながる真実をつかむ。そのことが自分自身の新たな見方につながる。生徒が語る時間を大切にしたい。